

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● 抗P/Q型VGCC抗体

(依頼コード No.13663)

受託開始日 2021年10月6日(水) ご依頼分より

抗P/Q型VGCC抗体は、血清中のP/Q型電位依存性カルシウムチャンネル(voltage-gated calcium channel: VGCC)に対する自己抗体で、ランバート・イートン筋無力症候群(Lambert-Eaton myasthenic syndrome: LEMS)では高頻度に検出されます。

LEMSは傍腫瘍性神経症候群の代表であり、LEMS患者の50~60%は小細胞肺癌(small cell lung carcinoma: SCLC)を合併すると言われております。

また、LEMSの臨床症状が無い小細胞肺癌や類似疾患である重症筋無力症、筋炎、ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー、筋委縮性側索硬化症では抗P/Q型VGCC抗体は陽性を示さないとされていることから、抗P/Q型VGCC抗体はLEMSに特異的であり、早期に、かつ簡便にLEMSと他の類似疾患との鑑別が可能となります。

この度、LEMSの診断補助を使用目的として保険適用されましたので、検査の受託を開始いたします。

裏面に続きます

受託要領

依頼コードNo.	13663
検査項目名	抗P/Q型 VGCC抗体
検体必要量	血清 0.3mL
容器	B-1→S-1
検体の保存方法	凍結
所要日数	2~8
検査方法	RIA法
基準値	30.0未満
単位	pmol/L
報告範囲	30.0未満～最終値
報告桁数	小数第1位
検査実施料/判断料	1000点/144点(免疫学的検査) ランバート・イートン筋無力症候群の診断を目的として測定した場合は、抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体の所定点数を準用して算定する。 本検査は、臨床症状によりランバート・イートン筋無力症候群が疑われる患者であって、反復刺激誘発筋電図検査において異常所見を認める患者を対象として実施した場合に限り算定できる。ただし、医学的な必要性から反復刺激誘発筋電図検査において異常所見を認めない患者を対象として実施する場合には、診療報酬明細書の摘要欄にその詳細な理由を記載すること。

【参考文献】

本村政勝, 他: 医学と薬学 77, 1057-1063, 2020.